

世界の自律走行車市場2022年－2031年：ADAS機能別（アダプティブクルーズコントロール、車線逸脱警報、タイヤ空気圧モニター、死角検出）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました



2022年11月9日

株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界の自律走行車市場2022年－2031年：ADAS機能別（アダプティブクルーズコントロール、車線逸脱警報、タイヤ空気圧モニター、死角検出、アダプティブフロントライティング、ナイトビジョン、パークアシスト、自動緊急ブレーキ、前方衝突、歩行者検出、交通標識認識、渋滞回避支援、ドライバーモニター）」調査資料の販売を2022年11月9日

に開始いたしました。自律走行車市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート

■レポートのタイトル：世界の自律走行車市場2022年－2031年：ADAS機能別（アダプティブクルーズコントロール、車線逸脱警報、タイヤ空気圧モニター、死角検出、アダプティブフロントライティング、ナイトビジョン、パークアシスト、自動緊急ブレーキ、前方衝突、歩行者検出、交通標識認識、渋滞回避支援、ドライバーモニター）

■英文タイトル：Autonomous Car Market (ADAS Feature: Adaptive Cruise Control, Lane Departure Warning, Tire-pressure Monitoring, Blind Spot Detection, Adaptive Front Lighting, Night Vision, Park Assist, Automatic Emergency Braking, Forward Collision, Pedestrian Detection, Traffic Sign Recognition, Traffic Jam Assist, and Driver Monitoring) - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031

■発刊日：2022年11月2日

■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）

■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容

自律走行車とは、環境を感知し、自律性のレベルに応じて人間の関与の有無にかかわらず運転することができる自動車で、完全な自動運転車では、ユーザーはいつでも車両を制御する必要はなく、車両に同乗する必要がありません。自動運転車には、高度な人工知能（AI）と機械学習（ML）システムが組み込まれ、周囲の状況を把握し、コマンドに応答するようになっています。高度なセンサーとアクチュエーターは、最先端のコンピュータービジョン機能と組み合わせて使用され、地図の連続更新、近くの車両や歩行者の存在の検出、距離の測定、道路や歩道の凹凸の検出を行います。2022年の自律走行車としては、Genesis GV80、Tesla Model S、Cadillac Escalade、BMW X7などが挙げられます。

高度な安全機能を備えた自動車の採用が増加し、予測期間中に世界の自律走行車市場を活性化させると予想されます。自律走行車には、アダプティブクルーズコントロール、アダプティブヘッドランプコントロール、交通標識認識、前方衝突警告、歩行者検出、自動ブレーキなど、さまざまな安全機能が搭載されています。自動車メーカーは、ドライバーの安全性を高めるためにAIベースのカメラを開発しています。自律走行車のLiDAR、レーダー、センサーは、交通データの迅速な分析とマシン間のレイテンシーの低減を支援します。また、自律走行車は、燃料消費量とCO2排出量の削減を実現します。

都市部の人口増加により、道路の1日平均交通量が急増しています。自動車台数の増加や適切な道路インフラの不足も、都市部における交通問題の原因となっています。

半自動運転車や無人運転車の採用は、交通渋滞を最小限に抑え、交通の流れを効果的に管理するのに役立ちます。調査によると、たとえ少数の自律走行車（5.0%）でも、波をなくし、全体的な燃料使用量を最大40%削減し、故障を最大99%減少させる大きな違いが生じる可能性があると言われています。

ADAS機能の観点から、世界の自律走行車市場は、アダプティブクルーズコントロール、車線逸脱警告、タイヤ圧モニター、死角検出、アダプティブフロント照明、ナイトビジョン、パークアシスト、自動緊急ブレーキ、前方衝突、歩行者検出、交通信号認識、渋滞支援、ドライバーモニタリングに区分されています。2021年の世界市場では、アダプティブフロントライティングセグメントが主要シェアを占めています。アダプティブフロントライティングシステムは、車のヘッドライトを動的に調整することで、他の道路利用者の安全を損なうことなく、ドライバーに最適な夜間視界を提供するのに役立ちます。

2021年の世界市場では、自動緊急ブレーキ分野が2番目に大きなシェアを占めています。自動緊急ブレーキシステムは、衝突の可能性を防ぎ、衝突の前に、走行中の車両の速度を低下させることを支援するものです。このシステムは、衝撃を和らげたり、事故を完全に防止することを目的としています。

自律走行車の世界市場は、自律性のレベルに応じて、レベル1、レベル2、レベル3、レベル4、レベル5に分類され、レベル1セグメントは、2021年の世界市場において圧倒的なシェアを占めています。予測期間中もその優位性を維持すると予想されます。レベル1の自律走行車は、操舵支援やブレーキ・加速支援を行う運転支援システムを少なくとも1つ提供しています。他のレベルの自動車よりも手頃な価格となっています。レベル1の自律走行車は、インフラが発達しているほとんどの国で運用しやすいです。

レベル2セグメントは、2021年の世界市場で2番目に大きなシェアを占めています。著名な自動車メーカーは、レベル2の自律性を採用し、方向、スロットル、ブレーキ制御、アダプティブクルー

ズコントロールなどの高度な機能を顧客に提供し、ドライバーの安全性を確保・向上させています。

自律走行車市場予測によると、レベル4セグメントは今後数年間で大きく成長する可能性があります。レベル4の自律走行技術は、いくつかの地域で普及が進んでいます。現在、レベル5の自律走行車には特定の市場がありません。しかし、レベル5セグメントは、自動運転車の技術開発が著しく、予測期間中に急成長すると予測されます。

2021年の自律走行車の世界市場は、数量ベースではアジア太平洋地域が圧倒的なシェアを占めています。インフラ整備への投資の増加や自動車部門の拡大が、同地域の市場を牽引しています。中国は、アジア太平洋地域における自律走行車の主要生産国の一つです。同地域の自動車メーカーは、先進運転支援システム（ADAS）の研究開発に多額の投資を行っています。欧州は予測期間中、北米に次いで2番目に大きな自律走行車市場シェアを記録すると予想されます。自律走行車における適応型フロント照明システムの統合の急増と主要メーカーの存在が、欧州の市場を強化しています。北米では、いくつかの自律走行車の発売が増加しており、自律走行車市場の将来は有望と思われる。

■レポートの詳細内容はこちら

<https://www.marketresearch.co.jp/data1/autonomous-car-market-adas-feature-adaptive-cruise-control-lane-departure-warning/>

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら

<https://www.marketresearch.co.jp/contacts/>

■調査会社Transparency Market

Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について

<https://www.marketresearch.co.jp/Transparency-Market-Research/>

株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market

Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて

<https://www.marketresearch.co.jp/>

主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供

本社住所：〒105-0004 [東京都港区新橋1-18-21](#)

TEL：03-6161-6097 FAX：03-6869-4797

マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by [ぷれりりプレスリリース](#)

<https://www.prerele.com>